

第5学年

色玉の森

～造形遊びを作品につなげて～

- めあて
- いろいろな色作り遊びを楽しむ。
 - 自分のお気に入りの美しい部分を活かしてつくる。
- 準備物
- 色画用紙、新聞紙（教師）
 - 絵の具、クレヨン、袋または箱、ノリ、色紙、毛糸、布など（児童）



学習の流れ	実践上の留意点
<p>○色遊びをする。</p> <p>○色の鑑賞会をしながら、自分の好きな色の部分を見つけたり、友達のよいところなどを見つけたりする。</p> <p>○好きな色画用紙に木を何本か描く。</p> <p>○切り取った丸いものを美しく構成する。</p> <p>○『色玉の森』の展覧会をする。</p>	<ul style="list-style-type: none">• マーブリングやスパッタリング、デカルコマニーなどでたくさん色遊びをさせる。（画用紙は好きなだけ用意し、いろいろな手法を試させ、かわかす。）• 好きな部分を丸く切り取る。（自分で袋や箱などに保管する。）• 枝のみを描くようにする。• 描きたい森のテーマ（さわやか、いやし、動物の森、秋の森など）をイメージしながら構成し、のりではりつけさせる。• できた森のイメージに合わせて好きなモチーフを描き加えてもよい。• 森の歌（「音のカーニバル」など）を合唱したり合奏したりして楽しませる。